

兵庫の学校給食だより

2020.3
No.125



(公財)兵庫県体育協会 兵庫県学校給食・食育支援センター

〒673-1421 兵庫県加東市山国2007

<http://hyogo-kyushoku.jp/>

検索



洲本市立広石小学校の食育取組

本校は自然に囲まれた地域にあり、学校の周辺では稲作・畑作が盛んに行われています。地域住民は、学校教育に協力的で、特に、教育田での米作りでは、塩水選から始まり脱穀までの一連の作業を全て体験させていただくとともに、米作りの大変さ、収穫の喜びを感じる貴重な機会となっています。

食育研究大会では、生活の中の食習慣を大切にするために「食べる力は生きる力！～望ましい食習慣を实践する広石っ子の育成～」を研究テーマに取り組んできました。食生活を見直すとともに、栄養バランスを考え、健やかな心身の成長を考えられる児童を育成することを目的としました。

今後も児童が生活の中の食習慣を大切に、望ましい食習慣を实践していけるように家庭・地域と連携しながら取り組みを継続していきます。

「おにぎりパーティ」

地域の方にご協力いただき5年生が育てたお米を使って、地域の方々をご招待してのおにぎりパーティーが開催されました。



「食育劇」

6年生が食品ロスについて調べ、全校生に紹介しました。



「田植え」

老人会の方々にご指導いただきながら、田植えをしました。



「なかよし給食」

学期ごとに低学年と高学年、2つの学年を組み合わせた、なかよし給食を実施しています。



「冬野菜を育てよう」

JAの方にご指導いただき学校の畑に冬野菜を植えました。



もくじ

- 洲本市立広石小学校の食育取組…………… ①
- 令和元年度 文部科学大臣表彰・県教育長表彰… ②③
- 令和元年度 地域の特色を生かした食育推進事業… ④⑤
- 市から町から(姫路市立鹿谷中学校)…………… ⑥
- 全国学校給食甲子園
令和元年度 学校給食従事職員表彰者名簿 …… ⑦
令和2年度 食育支援センター事業年間行事予定表
- 令和元年度学校給食用物資研究会(展示会)…………… ⑧

関係者にご回覧ください

「給食センターを見学して」
洲本市立広石小学校 1・2年生

つくるのはたいへんとおもったから、きゅうしょくをたべるときは、つくってくれた人にかんしゃしながらたべようとおもいました。

はじめておふろの大きさのおなべをみました。1日で5この大きなおなべで830人分のおしるを作っているのが、すごいと思えました。これからもおいしく食べたいです。

23人で830しょくをつくるのをみて、かんとうしました。なべがいてんするのはしりませんでした。

おめでとうございます!!

令和元年度 学校給食表彰「文部科学大臣表彰」を受賞して

県立東はりま特別支援学校 栄養教諭 岡本 智恵子 先生

この度、令和元年度文部科学大臣表彰を受賞できたことを感謝いたしております。本校は、児童生徒・教職員ともに食育の大切さを感じており、日々の給食時間に個に応じた食事指導、食育の授業では旬や地域の特徴や特産物について、食事のマナー、からだの健康等についての指導も進めてきました。そして、毎月19日の『食育の日』には、旬の食材を知り、味わってもらう献立を提供しています。

また、保護者、地域と連携して『親子クッキング教室』や『子どもの生活習慣病予防』の研修会、個別相談を開催し、子どもの健康づくりに取り組んでいます。学校ホームページでは毎日、『きょうの給食』を掲載しています。

これからも日々の給食指導や各教科等での指導を積み重ね、児童生徒に学校給食を通して学んだことや食育の授業で学んだことを身に付けさせるように努めていき、保護者には子どもたちの健康についての知識、情報を的確に伝えていきたいと考えています。そして、子どもたちが将来、心豊かな生活を送ることができるように願っています。



食育目標である『食』のことについて理解し、『食』を大切にする心をもとうの目標に向かっていきます。

令和元年度

学校給食優良学校等 兵庫県教育長表彰

西宮市立上ヶ原小学校 栄養教諭 常田美子先生

この度は、『兵庫県教育長表彰』という素晴らしい賞をいただくことができ、驚きとともに身に余る光栄に感じております。安全でおいしい給食作りに邁進されている調理員の皆さん、食育の一步をいつも後押ししてくださっている多くの先生方、共に研鑽してきた栄養教諭の仲間のおかげと感謝しております。食育基本法が制定され、食育の必要性を痛感し、栄養教諭として何ができるかを常に問い続けてきてまいりました。今後子どもたちの笑顔とさらなる食育の推進を目指して、誠実に取り組んでいきたいと思っております。



加古川市立氷丘南小学校 栄養教諭 今村貞美先生

この度は「兵庫県教育長表彰」をいただき、ありがとうございました。これもひとえにこれまで支えてくださった多くの皆様のおかげと感謝しております。なかでも、平成30年には、「第69回全国学校給食研究協議大会」の運営に携わる機会を得ることができ、参加者の方々から「いい大会だったね」とお褒めの言葉をいただきました。改めて兵庫県の学校給食を支える関係者の皆様が結集した力の大きさに感じ入りました。これからは、子どもたちのために奮闘する先生方や栄養教諭の皆様の取り組みを陰ながら応援していきたいと思っております。

西脇市立日野小学校

1 はじめに

家庭や地域の人々と連携し、生活の様々な側面で食のつながりを大切にしている。

2 特色のある取組内容

- ア 複数の指導者で全クラスの給食指導を行い、「給食を残さず食べるのは当たり前」という文化が定着しています。
- イ 長期休業明けの起床・就寝時刻や朝食の内容等を記録する「パワーアッププラン」の実施により、生活リズムを整え、栄養バランスをも意識した食事内容へと変わってきています。
- ウ 全教育課程の中に食育を位置付けて、様々な場面で食のつながり（FEボンド）に気付かせる「ちょこっと食育」を推進しています。

3 おわりに

児童の発言に食にまつわる言葉が増えました。今後も家庭や地域と連携して、食に関わる人生が少しでも豊かになるようにしていきたいです。



南あわじ市立倭文中学校

1 はじめに

本校は、淡路島中央部に位置し、緑豊かな自然に恵まれた学校です。

2 特色のある取組内容

栄養教諭との連携の下全職員で研修を積み、1年生では「感謝の心を育てる食育」、「給食が届けられるまで」の学習を給食センターの見学を通して行い、この学習を基礎にして、2年生では、「トラメシ」、「勝負メシI」を、3年生では、「勝負メシII」を。また、全校的な食育として、夢未来体験「料理スキル」、「郷土料理」、「防災食」、「地産地消」の各実習に取り組んでいます。

3 おわりに

子どもたちの未来のために全職員で力をあわせて、授業や活動をさらに深化させて取り組んでいます。



上郡町立高田小学校

1 はじめに

給食導入から今年で7年目を迎える本校では、偏食による残菜が問題となり、食に関する意識を高めることが課題となっていました。

2 特色のある取組内容

「ちょこっと食育」と「たっぶり食育」を組み合わせ、全教科で食育の視点を持った授業づくりを実践し、食育指導の充実を図りました。地域の田んぼでの稲刈りや農園での収穫などを体験学習として企画したり、生産者の方をゲストティーチャーに招いた授業を実施したりしました。

3 おわりに

これからも、児童が自分の食を見直し、主体的に課題を見つけ、解決していく態度の育成に取り組んでいきたいと考えています。



佐用町学校給食センター

1 はじめに

佐用町は、田園風景が広がる緑豊かな町で、誇れる食材や特産物がたくさんあります。地元産のキヌヒカリなど地域の食材を生かした学校給食の提供に取り組んでいます。

2 特色のある取組内容

- 地域の特性を生かした農産品のブランドを守る地理的表示（GI）保護制度に豆類として初めて登録された「佐用もち大豆」など、地元で採れる食材を使用した「さよっ子献立」
- 味噌・塩こうじ・甘酒など発酵食品を取り入れた「免疫力アップ献立」
- 27品目に対応した食物アレルギー完全除去食、代替食の提供

3 おわりに

今後もこれらの取り組みを継続し、学校給食に携わる多くの人たちと連携して、安全・安心な学校給食を実施していきます。



地元で採れる食材を使用した「さよっ子献立」

劇団「からっぽ大作戦」（宝塚市）

「愛と勇気と手間かけて、この調理員マンがおいしく調理する。子ども達の豊かな未来のために〜！」

劇団からっぽ大作戦 監督 小倉秀治
(宝塚市立丸橋小学校 学校給食調理員)

これは食育劇の主役・学校給食調理員マンの決め台詞です。オリジナル脚本の食育劇を始めて7年が経ちました。現在のメンバーは8人の調理員。小道具や衣装などもすべて手作りです。給食作りのプロは、劇でも手を抜きません！

公演後の学校から、「食べ残しが減りました」という嬉しいお手紙をいただくこともあります。これからは「顔が見える学校給食」を実践していきます。



長井ふれあい朝市（香美町）

「長井ふれあい朝市」兵庫県教育長表彰を受賞して

この度、「兵庫県教育長表彰」を頂戴し、会員一同、身に余る光栄だと大変驚くとともに心から感謝しております。

本会は、学校給食センターへの食材納入のほか、地元小学校の児童と一緒に給食を食べながら生産体験談を語ることで、「食材」や「携わる人たち」への感謝の気持ちを育む活動を行っております。

会員は高齢になってきていますが、子どもたちの笑顔と「おいしい」と残さず食べてくれる姿に後押しされ、なにより多くの方々の温かいご厚情に心から感謝しながら、今後もやりがいと生きがいを持って頑張っていきます。

誠にありがとうございました。



令和元年度 地域の特徴を生かした食育推進事業

- ① 研究テーマ
- ② 重点目標等
- ③ 研究内容公開日・講師名
- ④ 今後の取組を継続するにあたって

学校食育実践研究大会（播磨東地区大会）

- 日時／令和2年1月20日（月）13:30～16:00
- 場所／兵庫県立嬉野台生涯教育センター
- 内容／解説

「県における食育の推進と播磨東地区の現状について」

実践発表「加東市の食育について」

（加東市学校給食センター、加東市立東条東小学校、加東市立東条中学校）

講演「伝える・つなぐ 和食の文化と科学」

- 講師／兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 教授 岸田 恵津 氏

県における食育推進体制と播磨東地区の現状を比較しながら解説を行った。実践発表では、加東市の給食センターや小学校・中学校により、学校、家庭、地域等が連携した取り組みや教科横断的な取り組みが紹介され、参考とすることができた。また、兵庫教育大学大学院の岸田先生による講演会では、「伝える・つなぐ 和食の文化と科学」と題して、和食について文化的・科学的側面から説明され、和食を継承することの意義や学校教育での学びについて理解を深めることができた。

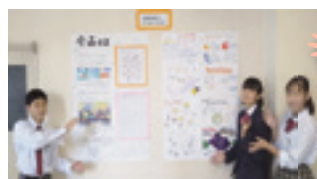
今後も、内容等を工夫し、指導者の資質向上及び、地区内のさらなる食育推進を図る有意義な会としたい。

まとめ



1 宝塚市立宝塚中学校

- ①「やってみよう！『食』を中心にした豊かな学び」～各教科・領域における「食育」の広がり～
- ②宝塚市の防災給食を中心に、災害時における食の大切さを学ぶ。
- ③令和2年1月15日（水）
講師：神戸大学大学院 農学研究科 准教授 山下 陽子 氏
- ④年に一度の防災給食をはじめ、日頃のとりくみの一口メモや委員会活動などを通じて食育を広げていきたい。



2 西脇市立日野小学校

- ①「話したい！つなげたい！そして、学びに向かう力へ～『食』でつながる つなげる FEボンドを生かした授業づくり～」
- ②FEボンド（食のつながり）に気付かせることによって、食に関する正しい知識と食習慣を身につけさせる。
- ③令和元年11月29日（金）
講師：マイスター工房八千代 施設長 藤原 たか子 氏
- ④全教育課程の中で、食育の視点を取り入れた『ちょこっと食育』の授業実践を推進する。



3 姫路市立置塩小学校

- ①主体的に学び、伝え、認め合う児童の育成～食に関心を持ち、学んだことを自らの生活に生かせる子～
- ②地域の協力による農業体験を教育課程の中心として位置付けた食育の推進
- ③令和元年11月15日（金）
講師：農地所有適格法人（有）夢前夢工房代表（株）兵庫大地の会 代表取締役社長 衣笠 愛之 氏
- ④今後も、学校・家庭・地域が連携して、豊かな農業体験を無理なく長きにわたって継続できる方向を模索していきたい。



研究会当日芋ほりを体験する参加者

4 豊岡市立資母小学校

- ①「食の力」は「生きる力」～ふるさとの「食」を大切に 主体的に学ぶ児童の育成～
- ②食育を通して、自ら健全な食生活を実践できる子どもを育てる。
- ③令和元年11月15日（金）
講師：神戸大学大学院農学研究科 准教授 山下 陽子 氏
講演テーマ：「地域に根ざした日本型食生活と食育の大切さについて」
- ④地域人材等を活用し、人・場面・時間を有効利用する。教科横断の視点で、柔軟な発想のもと食育の継続を図る。



5 丹波市立上久下小学校

- ①「食について自ら考え、伝え合う、心豊かな上久下っ子の育成」
- ②健康を保つための食を選択する力、食べ物や生産にかかわる人々に感謝する心、よりよい人間関係を作ろうとする態度を育てる。
- ③令和2年1月30日（木）
講師：武庫川女子大学 教育学部教育学科 准教授 藤本 勇二 氏
- ④「食育」の視点を入れた様々な教科・教科外の授業作りを研究の中心とし、体験活動も推進した。次年度も作成したカリキュラムを活用する。



6 洲本市立広石小学校

- ①食べる力は生きる力！～望ましい食習慣を実践する広石っ子の育成～
- ②豊かで多様な食について学び、望ましい食生活を実践する力を育む。
- ③令和元年11月26日（火）
講師：鳴門教育大学大学院 准教授 速水 多佳子 氏
講演テーマ：「豊かな生活の実現を目指す食育」
- ④児童の日常生活における望ましい食習慣を実践できるよう、家庭・地域との連携を図る。



7 県立こばと聴覚特別支援学校

- ①健康な体を育てるための食に関する取組～食べ物に興味を持ち、いろいろな食べ物を食べ、望ましい食習慣の形成を目指す～
- ②楽しい雰囲気の中で食事をとりながら、望ましい食習慣や態度を身に付ける。
- ③令和2年1月15日（水）
- ④今後も、栽培活動やクッキングを含む体験活動を主に、保護者や学校医等と連携し、継続して取り組む。



令和元年度食育講演会 実施内容一覧



令和元年8月22日（木）
兵庫県民会館 けんみんホール
文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課
食育調査官 清久 利和 氏



令和元年8月23日（金）
淡路文化会館 講堂
武庫川女子大学 生活環境学部食物栄養学科
教授 高橋 享子 氏



令和元年8月26日（月）
山南住民センター やまなみホール
神戸大学大学院 農学研究科
准教授 山下 陽子 氏

市から町から

きょうの給食な～に？

姫路市立鹿谷中学校 栄養教諭 浅賀 優子

姫路市立鹿谷中学校は、姫路市北部の雪彦山や夢前川に囲まれた自然豊かな地域に位置しています。鹿谷中の給食を調理している夢前学校給食センターでは、夢前・安富地域の市立幼稚園・小学校・中学校計14校園に給食を届けています。

姫路市の学校給食では、姫路市、兵庫県産の食材を優先して使用する地産地消の取り組みを推進しています。姫路市は大津地域のレンコン、坊勢地域の海産物、兼田地域の葉物野菜、太市地域のタケノコなど豊かな食材に恵まれています。また、夢前・安富地域の特産物である酒かすやゆず果汁も、かす汁やゆずソースなど人気の献立に欠かせない食材となっています。

1月24日から30日までの全国学校給食週間に、夢前学校給食センターでは、毎年、日替わりで日本各地の郷土料理や世界の料理を取り入れています。今年度はフランスの「鶏の香草パン粉焼き」や和歌山県の「まぐろのケチャップあん」が好評でした。山形県の「すんだもち」は、初めて食べてビックリしたという声も聞かれました。児童生徒が毎年楽しみにしている取り組みです。

給食室から

和食のだしには、煮干し、削り節、昆布を使用しています。薄味でもおいしいのは、丁寧にだしをとっているから。みそ汁やかきたま汁、煮びたしなど、だしを利かせた献立が特に人気です。

☆ 献立 ☆

- ・ごはん ・牛乳 ・姫路おでん
- ・焼きししゃも ・小松菜とレンコンのソテー

食育だより

鹿谷中学校では、給食指導を中心に、家庭科や総合的な学習などの時間に食育を行っています。今年度は調理実習、家庭教育講演会、ワークショップを実施し、だしや和食について学びました。調理実習では、栄養教諭によるだしの授業の後、実際に混合だしをとって、にゅうめんとつくだ煮を作りました。初めてだしをとる生徒が多く、かつお節と昆布からとっただしで作ったにゅうめんは格別においしかったようです。「家でもだしをとってみたい」という感想も聞かれました。



調理実習でにゅうめんとつくだ煮を作る生徒

また、NPO法人日本料理アカデミー 地域食育委員会委員長の園部晋吾さんをお招きし、和食についてお話を聞きました。だしの試食をしたり、和食がユネスコの無形文化遺産に登録されるまでの道のりを聞いたりする中で、だしや日本の伝統的な食文化の素晴らしさを感じていました。

給食でも、しっかりとだしをとることを心がけています。日々の給食を通して和食の良さを感じ、生涯にわたって食を大切にしてもらいたいと願っています。



プロの調理技術を、目を輝かせながら真剣に見学する生徒



「第14回 全国学校給食甲子園」で丹波篠山市立西部学校給食センターが優勝されました。

平成から令和へと元号が変わり、「篠山市」から「丹波篠山市」へと市名変更があった記念の年に優勝できて本当に嬉しく思います。多くの学校から「おめでとう」や「日本一の給食が食べられていることが嬉しい」という声をいただいたり、地域の方々や生産者の方々にも喜んでいただけました。「優勝」という結果を持ち帰れたことにより、日ごろからお世話になっているの方々へ感謝の気持ちとして伝えられたような気がしました。とはいえ、日々の取り組みが今回の結果に繋がったと思っています。これからも子どもたちに、安全・安心・おいしい給食を給食センター一丸となって届けたいと思います。

丹波篠山市立西部学校給食センター 田端 廣美



兵庫県 丹波篠山市立 西部学校給食センター



献立内容

- ・丹波篠山黒豆ごはん
- ・牛乳
- ・寒ザワラのデカンショねぎソース
- ・ふるさと野菜のゆずマヨネーズ和え
- ・天内芋入り根菜ぼたん汁
- ・温州みかん



© 全国学校給食甲子園事務局

令和元年度 学校給食従事職員表彰者名簿

学校給食業務に永年にわたり功労のあった方々に、兵庫県学校給食・食育支援センター所長から感謝状をお送りします。

市町名等	氏名	市町名等	氏名	市町名等	氏名	市町名等	氏名	
神戸市	的場 朱美	西宮市	伏見 麗子	川西市	馬場 真由美	豊岡市	正木 美保	
	川添 一夫		小寺 和美	猪名川町	谷 美妃子	香美町	甲斐 健児	
	米澤 美和		生川 めぐみ	明石市	藤井 美穂	養父市	岡 真弓	
	安原 真紀子		島津 美恵	稲美町	澤田 綾佳	丹波篠山市	長澤 逸夫	
	市原 有加里		古田 郁美	加東市	松尾 泰子		今江 由紀子	
	吉川 眞理子		芦屋市	高橋 萌	早川 ルミ		東 恵理奈	
	田伏 恭子		伊丹市	瀧口 紀代	前田 由佳		藤島 知佐	
	小井戸 誠		宝塚市	宝野 加奈世	姫路市		坂本 洋子	遠山 悦子
加藤 恵	西松 裕美	田中 悠嗣		大前 昌代				
西宮市	谷澤 文	川西市	和田 綾乃	たつの市	上田 静		南あわじ市	安達 朝子
	平岩 由紀		藤田 之恵	相生市	前田 珠美			真野 宏美
	天野 直子		佐藤 一美	副島 布佐子	山下 有喜	中元 真仁		
	岡崎 知子		高祖 直子	宍粟市	柴原 和美	淡路市		北河 里奈
	平島 千秋		町 由希子	豊岡市	中島 由佳子	県立学校		兼吉 五月
	今治 奈菜美		田村 絵里奈		原 泉美			
	庄 綱子		上田 香		守山 智子			
	竹本 久子		前川 寿美恵					

令和2年度 食育支援センター事業年間行事予定表

	行事	会場等	開催予定	参加者等
体験学習	魚講習会	各学校	年32回	児童(5, 6年)・生徒、教諭等
	竹輪を作ろう!講習会	各学校	年25回	児童・生徒、教諭等
	ごはん塾	各学校	年3回	児童・生徒、教諭、保護者
	パン作り教室	各学校	年3回	児童(4~6年)等
	手作り豆腐講習会	各学校	年2回	児童(3~6年)・生徒、教諭等
	みそ作り教室	各学校	年5回	児童・生徒、教諭等
	県産品を利用した親子料理教室	県下	6団体	児童・生徒とその保護者
	地引き網漁業体験	都志港、平岡農園(洲本市)	年1回	児童とその保護者
	県立武道館との連携による食育学習会	県立武道館	年1回	施設利用者
	衛生管理	学校給食用製パン・炊飯委託工場衛生管理研修会	未定	年3回
学校給食関係者衛生管理等・調理講習会		兵庫県学校給食・食育支援センター	年2回	栄養教諭、調理従事者等
研修会・講習会	食育講演会(県教委共催)	未定	2会場	学校管理職、栄養教諭、食育担当教諭等
	食育推進校の指定及び学校食育実践研究大会(県教委共催)	指定された7校	7会場	食育推進指定校及び近隣の学校等
	栄養教諭実務研修会(県教委共催)	未定	年1回	栄養教諭、学校栄養職員等
	食に関する指導研修会(県教委共催)	未定	年2回	採用4年目までの栄養教諭及び経験年数5年未満の臨時講師(栄養担当)または学校栄養職員
	共同調理場所長研究会	未定	年1回	共同調理場所長等

令和元年度学校給食用物資研究会(展示会)を開催しました

令和元年8月1日(木) 神戸サンボーホール(神戸市中央区)にて、学校給食について一層の理解を深めるとともに、食育の推進を図ることを目的に「学校給食用物資研究会(展示会)」を開催しました。

例年2会場で開催していたところ、今年度は集約して1会場となりましたが、暑い中、県内各地から300名を超える学校給食関係者にご来場いただきました。

当日は、450品目を超える学校給食用物資の展示と、貸出食育指導用教材や検査機器等の展示をしました。

そして、今回抽選ではありましたが、当センターが実施している出前講座を参加者に体験していただくコーナーを作り、「竹輪を作ろう! 講習会(協力: ㈱二方蒲鉾)」や新規に導入を計画していた「みそ作り教室(協力: ㈱足立醸造)」の他特別に、兵庫県パン・米飯協同組合の協力による「フォカッチャ作り教室」を行いました。

また、当センター検査・衛生管理担当主任指導員を講師とした「食品衛生について」の講演会も実施しました。



レプリカ



フォカッチャ作り教室



竹輪を作ろう! 講習会



講演会

給食物資の展示コーナーでは、商品サンプルの試食や出店企業との意見交換に話を弾ませ、食育体験コーナーでは、参加されたみなさんが思い思いに楽しまれていました。

来場アンケートでは、「展示の並びが見づらい」「講演会場が狭かった」など今後の課題となるご意見をいただきましたが、「みそ作りは有料でも体験したかった」「実際に作ってみて、食材に触れる体験を勤務校の児童・生徒にたくさんさせたいと思った」などの感想も多く寄せられており、物資研究会(展示会)を通して学校給食の取り組みや食育の意義について楽しく学んでいただけたのではないかと感じています。

今回実施しました「みそ作り教室」は、令和2年度「体験学習の出前講座」に入ることになりました(年5回の実施予定)。

また、「竹輪を作ろう! 講習会」については、申込数が多いので、年25回の実施を計画しています。詳しくは、各学校へ届くご案内(実施要項等)をご覧ください。



みそ作り教室

令和元年度「兵庫の学校給食だより」編集委員

兵庫県教育委員会事務局 体育保健課 主任指導主事
 芦屋市立山手中学校 主幹教諭(栄養担当)
 西宮市立鳴尾北小学校 栄養教諭
 加古川市立氷丘南小学校 栄養教諭
 兵庫県学校給食・食育支援センター 食育支援課長

松尾 吉晃
 奥 瑞恵
 芹野 淑恵
 今村 貞美
 林 勇二



(公財)兵庫県体育協会
 兵庫県学校給食・食育支援センター

兵庫県加東市山国2007
 TEL.0795-42-3791 FAX.0795-42-3795
 編集発行人 秋山 保浩